



2016 年 06 月 20 日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ 03-5475-6309
<http://www.audi-press.info/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディコミュニケーション センター

Audi、ルマン 24 時間レースで総合 3 位と 4 位を獲得

- 18 回目の参戦となるルマン 24 時間レースで表彰台に
- 2 台の Audi R18 が厳しい状況を跳ね返し完走
- 貴重な世界耐久選手権ポイントを獲得

6 月 19 日 インゴルシュタット/ルマン: アウディは、26 万 3,500 人の観衆が詰めかけたルマン 24 時間レースで、総合 3 位と 4 位でフィニッシュし、同レースでの連続表彰台獲得記録を伸ばしました。

最終ラップまで目が離せないドラマチックな展開となった今年のレースで、ルーカス ディ グラッシ(ブラジル) / ロイック デュバル(フランス) / オリバー ジャービス(イギリス)組が最終的に 3 位に、マルセル ファスラー(スイス) / アンドレ ロッテラー(ドイツ) / ブノワ トレルイエ(フランス)組が 4 位でフィニッシュしました。これにより、1999 年以来 18 回目の参戦となるアウディは、過去出場したルマン 24 時間レースの全大会で表彰台に上る (そのうち 13 回は総合優勝) という記録を更新しました。

アウディモータースポーツ代表の Dr. ウォルフガング ウルリッヒは「残念ながら、すべてが順調に運ぶというシナリオは、用意されていませんでした。今回のルマンでは、このレースがなぜ世界で最も厳しいレースと呼ばれているのかを、改めて認識しました。2 台とも完走させたチームを誇りに思いますが、望んでいた目標には届きませんでした。2 年連続で優勝を遂げたポルシェチームには、心からお祝いを述べさせていただきます。我々と同じく 18 回目の参戦となったトヨタチームが、素晴らしいレース展開の末に、最後の所で勝利を逃してしまったことが、いかにルマン 24 時間レースで優勝することが難しいかを物語っています」とコメントしています。

豪雨に見舞われ、ルマンのレース史上初めてとなる、セーフティカーに先導されてのスタートとなった今年のレースで、5 番手スタートのアンドレ ロッテラーが、オールクリアになった後に素晴らしい走りを見せ、わずか数ラップでトップポジションを獲得しました。しかし、彼が駆る 7 号車の Audi R18 は、レース開始 2 時間でトップ走行中にも関わらずターボチャージャー交換のためのピットインを余儀なくされ、総合優勝のチャンスを逃してしまいました。

この時点で、アウディスポーツ チームヨーストの期待は、もう 1 台の Audi R18 に寄せられました。いくつかのトラブルに見舞われたものの、8 号車は夜間を通して先頭グループとの距離を詰め続け、日曜日の朝の時点では、勝利に向けて走り続ける先行車と 2 ラップ以内の位置につけていました。しかし、その後はブレーキディスクに不具合が発生してしまい、レース終了 4 時間の時点でトップとの差は 12 ラップに拡大しました。また、念のため 7 号車のフロントディスクブレーキも交換しました。

今回のレースでは、参戦したマシン 2 台ともが貴重な FIA 世界耐久選手権(WEC)のポイントを獲得しました。チームは、7 月 24 日に開催されるニュルブルクリンク 6 時間レースに向けた準備に全力を傾けます。

ルマン 24 時間レースの決勝結果

1: デュマ / ジャニ / リーブ	(ポルシェ)	384 laps
2: コンウェイ / 小林 / サラザン	(トヨタ)	-3 laps
3: ディ グラッシ / デュバル / ジャービス	(Audi R18)	-12 laps
4: ファスラー / ロッテラー / トレルイエ	(Audi R18)	-17 laps

...

*本リリースは、アウディモータースポーツ配信リリースの翻訳版です。